

『名作映画には「生きるヒント」がいっぱい!』を出版

弁護士で映画評論家の坂和章平さんから

09年8月30日の衆議院議員総選挙によって実現した政権交代から約1年半。大きな期待を背負ってスタートした鳩山連立政権は政治とカネや普天間基地移設を巡る混乱で強い批判を浴び、発足からわずか約9カ月で退陣しました。民主党代表選挙で小沢一郎を破った菅直人首相は、「脱・小沢」を示すことによっていったん支持率が上昇しましたが、中国漁船衝突事件に端を発する日中問題の迷走ぶりや、同事件の衝突映像がインターネット上に流出し、

名作映画には 「生きるヒント」 がいっぱい!



著者 坂和章平

「困難に立ち向かう勇気を与えてほしいとき」

「人間の善悪や誠意を感じたいとき」

「自分の人生に納得したいとき」

「仕事がうまくいかなくてイラつくとき」

「恋人との年齢差に悩んでいるとき」

この本には、「その解決策」が満載です。

河出書房新社 0228 291400円

仙谷官房長官と馬淵国交大臣の問責決議が可決されるなど、わが国の政治状況は機能不全の一步手前となっています。また、経済的にはデフレと円高そして株価の低迷が深刻となっています。わが国の行く末はますます混迷度を深め、先行き不透明ですが、そんな現代社会ニッポンを生きる指針として、『名作映画には「生きる

るヒント」がいっぱい!』(河出書房刊・定価1,400円・税別)を紹介します!

本書は、私がここ数年の間に観た洋画、邦画、中国・韓国映画などから名作映画50本を厳選し、「困難に立ち向かう勇気を与えてほしいとき」「仕事がうまくいかなくてイラつくとき」「生きていくのが嫌になったとき」など、現代人が最も関心のありそうな50のテーマごとに一つの作品を取り上げ、「あらすじ」と「ここに注目」を紹介しています。そして最後に、生きるための指針となればと願って、「生きるヒント」を示してみました。

名作映画は、観ている人たちに、勇気と希望、自信と信念など、なんらかの示唆を与えてくれるものです。私も、62歳の今日まで映画から多くのことを学んできました。それは、生きていく上でも、仕事をしていく上でも、大いに役立っています。名作映画は、まさに「生きるヒント」がいっぱいなのです。本書はどちらかというと年寄り向き(?)かもしれませんが。また、私の思い入れが強すぎるかもしれませんが。しかし、そんな本書から、老若男女のみなさんそれぞれが、自分の置かれた状況を打破する、希望の灯りをぜひ見つけてください。ご注文等は坂和総合法律事務所(☎06-6364-5871)まで、よろしく申し上げます。